

令和8年度9月補正予算（追加提案） 記者発表

石 川 県

令和8年9月15日

令和8年8月の大雨災害への緊急対応



8/27
発災

- 線状降水帯の発生を受け、当日未明、**災害対策本部を設置**
- その後、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町に、**県内で初めて「レベル5大雨特別警報」が発表**
 - ✓ 4市町に災害救助法を適用し、人命確保を最優先に対応
 - ✓ 被災したインフラ施設の迅速な応急復旧を進める
- 被災現場を視察された**防災担当大臣、国土交通大臣、農林水産大臣に支援を要請**

引き続き、国や被災市町などと連携



大規模な冠水が発生した
邑知潟周辺農地



鈴木農林水産大臣による
被災現場の視察（9/7）

公共施設等の早期復旧と今後に備えた防災・減災対策

被災者に対する応急救助と生活再建への支援

農業者や事業者の事業再建への後押し

に万全を期すため、
必要な予算を追加提案

- 被災した道路や河川などの公共施設等については、速やかに応急復旧に着手

県管理道路の通行止め

34路線 48箇所 ▶ 現在 **7**路線 **7**箇所



崩落箇所① 羽咋市神子原町

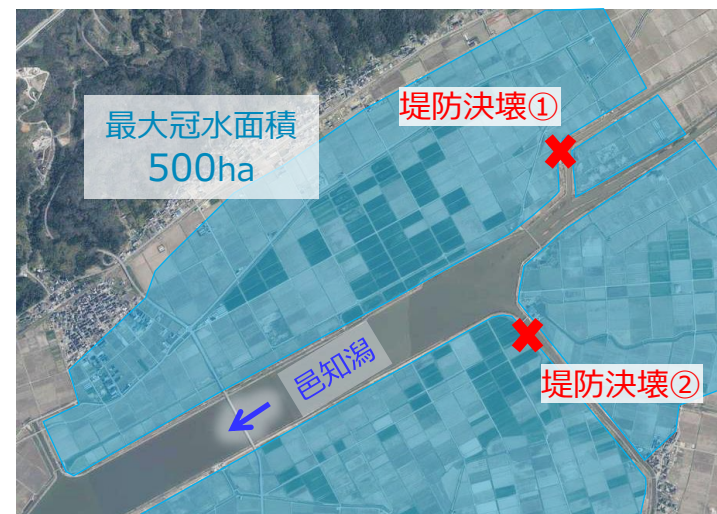


崩落箇所② 羽咋市神子原町

国道415号については、
シルバーウィーク前までの通行再開を目指す

河川の氾濫

11河川 12箇所 ▶ 現在 **3**河川 **3**箇所



金丸川（羽咋市金丸出町）



飯山川（羽咋市南潟町）

➡ 仮堤防は完成済

冠水した邑知潟周辺農地については、
国の協力も得ながら、冠水解消を目指す

一日も早い本格復旧に向けて全力で取り組む

即効性のある河川や砂防施設の堆積土砂・流木の除去

- ✓ 新たに堆積が確認された**県下全域28河川、砂防施設36箇所**で実施
→ **R9出水期までに完了**



久江川（中能登町）

アンダーパスにおける冠水事故防止対策

- ✓ 今回の大雨により、県管理道路のアンダーパス5箇所で冠水を確認
- ✓ 国では、アンダーパスの冠水事故防止に向けたガイドライン策定を検討

国の動きを待つことなく、必要な対策に着手

今回冠水した5箇所

遠隔操作で速やかに通行止めができる **エアー遮断機の導入**



エアー遮断機（金沢市の事例）

8月27日からの大雨を踏まえた治水対策の検討

- ✓ 「中能登地区流域治水協議会」において、河川の氾濫要因を分析・検証の上、年内を目途に、地域の実情に応じた治水対策をとりまとめる

災害救助法に基づく応急救助

- ✓ 避難所の設置（最大21箇所）
- ✓ 住宅の応急修理（半壊以上：**75.7万円**、準半壊：**36.7万円**）
- ✓ 賃貸型応急住宅の提供

被災者の生活再建（被災者生活再建支援法が適用された場合の県独自の支援）

- ✓ 県独自支援も速やかに実施できるよう、あらかじめ所要の予算を計上

円滑な支援の実施に万全を期す

国による支援制度 (市町ごとの被害が基準に達した場合に適用)	県による支援制度 (県内いずれかの市町に法が適用された場合に適用)
中規模半壊以上が対象 (全壊：最大 300万円 など)	県内全ての市町を対象に、 ・半壊に支援を拡大：最大100万円 ・国支援制度と同じ内容を支援

被災地におけるボランティア活動への支援

- ✓ 被災地の状況や多様な支援ニーズを早期に把握・共有し、ボランティアバスの運行や必要な資機材・車両を手配
- ✓ 県内企業等に参加を呼び掛けており、引き続き、活動支援に取り組む

参加人数
延べ1,831人
(9/13時点)



ボランティアによる家財の搬出

被災農業者の事業再建への後押し



- 邑知潟周辺では、収穫を控えた水稻を中心に、400haを超える、過去に例を見ない規模の深刻な農作物被害が見込まれており、国の支援を待つことなく、**県独自の総合的な支援策を講じる**

① 農業機械の修繕・再取得への支援

② 営農再開に向けた環境整備への支援

- ✓ 災害ゴミの撤去・施肥・防除等への助成
- ✓ 農地・水路等の小規模修繕への支援

③ 収入確保に向けた支援

- ✓ 被災農家同士での収穫作業の受委託に向けたマッチング、被災水田での収穫作業に伴うかかり増し経費への支援

④ 運転資金の借入への支援

- ✓ 国の利子補給に対する市町と連携した上乗せ支援（**5年間無利子**）

⑤ 農林水産業ボランティアの派遣

⑥ 営農再開・継続に向けた伴走支援

- ✓ 県・市町・JAで構成する「邑知潟営農復旧現地対策チーム」の設置

＜事業スキーム＞

農機が被災して
作業困難な農家



米収量の確保

水稻が被災した
大規模農家



受託収入の確保

作業委託

収穫作業

双方の収入確保につなげる

本日9/15に設置



農林水産業ボランティア

- 羽咋市を中心に、事業者にも浸水などによる被害を確認
- 商工会議所・商工会などに特別相談窓口が設置されるとともに、被災事業者向けの資金繰り支援等が実施されているところ、**県においても被災事業者向けの支援を実施**

施設・設備の復旧に対する支援

補助対象 : 今回の大雨被害を受けた
県内の小規模事業者及び中小企業

補助額 : **最大 200万円**

能登半島地震・奥能登豪雨の
被災事業者は **最大 300万円**

補助率 : 小規模事業者 2/3、中小企業 1/2

要件 : 被災証明書等の提出、
BCP計画の策定

専門家派遣の充実

事業者の経営課題やニーズに応じて
資金繰りやBCP計画の策定などを支援

➡ 派遣枠**100**回分の追加

被災事業者は

無料で何度でも利用可能

(派遣回数の上限撤廃)





一般会計 9月補正予算額（追加提案分）

192 億 9,967 万円

9月補正額（当初提案分+追加提案分）	：	345 億 3,124 万円
補正後累計	：	9,731 億 777 万円